



東京都
医療法人社団清貴会 小川歯科
天王洲インプラントセンター

小川 勝久
先生

今回のアイテム

テイク1 アドバンス リジッドトレー

印象材が変えるインプラント補綴の精度

インプラント治療において、その特性から正確な適合性が要求される。その為には、印象採得時に、永久変形・歪の少ない、より精度の高い印象材が求められている。

Kerr社のテイク1アドバンスシリーズは、親水性に優れ、なおかつ、細部においても高い引裂強度を有した寸法安定性の高い印象材である。

使用する用途により、今回使用したリジッドトレー及びRBウォッシュ、トレー、メディアム、LBウォッシュの5種の組み合わせから選択する事で、適切な印象採得が可能となっている。また、オートミックス機構から、介助者に左右されず、均一に練和された状態の印象材を常に得る事ができる。



7. 口腔内の適切な位置に装着後、余剰な印象材を除去する。必要に応じて、個人トレーと印象用コーピングを、レジンをを用いて固定する事で精度の高い印象を採る事ができる。



8. 印象材と印象用コーピングの脱離や気泡の有無を確認し、アナログを連結して石膏を注入。



9. 適正に作製されたアバットメントを、丁寧に装着。



10. 隣接歯と咬合を考慮し、調和のとれた形態・色調の補綴物の作成ができた。



4. トレーの内面にKerrのエクストールドアドヒーズを塗布し、乾燥させる。



5. テイク1アドバンスのRBウォッシュを印象用コーピングの周囲に適量抽出。この時、付属の小さなシリンジチップやフリーフローシリンジも有効である。



6. テイク1アドバンスのリジッドトレーを個人トレーに適量抽出。



1. 印象用コーピングを装着する。必要に応じてレントゲンで適合を確認することが大切である。



2. 個人用トレーを印象用コーピングと適切な位置や大きさに調整する。



3. 隣接する歯牙とのアンダーカットが深いようであれば、寒天やワックスで埋めておく。(写真は寒天印象材)

しかしながら、症例に応じて印象材だけでなく、トレーの選択や印象方法(オートプリント)法なのかクロ

ーズドトレー法なのか)も考慮しなければならない。特に、隣接する歯牙のアンダーカット等の処理や、

個人トレーに付与する印象用コーピングのアクセスホール調整等に配慮が必要である。